

2018年5月6日(日)

冒頭報告

メンタルヘルス委員会 公家孝典氏による JSS のカウンセリング報告

時間：11:30～12:00

会場：Japan Foundation

<JSS の紹介>

JSS (ジャパンソーシャルサービス) は、約 30 年に亘ってトロントで日系人のサポートをしている。現在、フルタイムのカウンセラー1名、パートタイムのカウンセラー1名、フルタイムのソーシャルワーカー1名及び事務の方が勤務している。主に GTA 在住者の相談にのっているが、西は BC 州や東は PEI からの相談、問い合わせを受けており、年々増加するカウンセリングケース (2017 年では、376 件のケースを受け付け、平均 65 件/月と、2015 年の平均 55 件/月に比べても増加している) に対応するためには、慢性的な人員不足に悩まされている。

<活動内容>

持ち込まれる相談は、ハムスターの捜索から、DV や高齢化に関わるシニアのケース (増加傾向) と多岐にわたる。

* 認知症のケース

時間がかかる (完全に自立できなくなれば動きやすいが、中途半端なケースに苦労したり、また、ご本人の拒否もあり)。「こんにちはプログラム」でも対応して、援助を受けるにあたって、あまりオープンでないクライアントをすくい上げることもある)。JSS のサポートは長期療養型施設に入所するまでだが、辿り着くまでの年数は長い。

* 不登校のケース (10～15 件/年)

駐在ケースが以前は大半だったが、現地生まれの子供も増えている。カナダは日本と違い行政が動くため、裁判に発展するケースもあり、親が対応困難で相談するケースなども含まれる。

* アムロの会 (月一回)

自閉症、発達障害、多動障害 (現約 10 名) を持つ親の会に 10 年以上参加している。

* シングルマザーの会 (近年発足し、現在 3 週に 1 回)

ソーシャルワーカーが参加して、日本語で情報交換、外部からファシリテーター、サイコセラピストが参加することもあり。

DV 関連も多く増加傾向にある（相談件数 56 件／2015 年、62 件／2016 年、73 件／2017 年）。大半が女性の被害者としての相談だが、中には正当防衛でも加害者としてチャージされるケースや男性が被害者として相談するケースもある。56 件にのぼった（50 被害者、正当防衛で加害者としてチャージされるケース他に、DV の目撃者（子供たち）のカウンセリング（約 5 件／年）も行っており、子供が後になって問題行動を起こすケースなども含めるため、相談者との付き合いが長年に渡るケースもある。

<サポートの必要性和今後の展望>

ジャムズネットカナダのメンタルヘルス委員会に参加して、エモン先生（モントリオール）、鈴木先生（カルガリー）と年 4 回ほど会議を通して、カナダにおける日系社会のメンタルヘルスをどうサポートできるかを協議している。カナダでは、免許の制限もあり、各ケースにおいて、一対一での対応は難しいため、今後、ジャムズネットカナダのウェブサイトにも、一般に役立つ情報を載せていきたい。

近々、カナダで大麻が合法化されるにあたって、日本からのワーキングホリデーメーカーの間で依存症などの問題が起こることが予想されるため、ドラッグについての情報や注意の呼びかけなども発信していきたい。

バンクーバーでは JSS と同じような組織として、隣組があり、参考にしているが、隣組も、他の民族と比較して、日本人の数が少なく、公的資金は数の多いグループに振り分けられてしまうため、資金繰り難しいという点では、同じ問題を抱えている。日本人の数が他の民族に比べて少ないとは言え、毎年微妙に増えている（主に、ワーキングホリデーで渡加後、現地で結婚するケース）のと、DV に関するパブリシティの増加に伴い、相談件数は確実に増えている。トロント以外の地域とも連携を深めてサービスを継続したい。